



学校経営方針

日本国憲法、教育基本法、人間尊重の精神を基調とし、「保二小の矜持」をもって推進する全教育活動を通して、確固たる“心技体の核”を形成し、平和な国際社会の創造に貢献できる児童を育成する。

教育目標

自ら伸びる

“いきぬく” 知力の鍛錬
よく考える子

“いきぬく” 心力の熟成
思いやりのある子

“いきぬく” 体力の強化
たくましい子

目指す学校像

● 安心・安全な学校

教育活動の基盤は「安心・安全」であることを念頭に置く。

● 子どもが嬉々として登校し、自分の成長を実感する学校

わかる楽しさを感じる授業、力を発揮し互いに認め合える学級を。

目指す教職員像

● 共に あたたかく きびしく

○教育目標の達成に向けて、教職員同士はもちろん、地域や保護者の方々とも目標を共有してともに取り組む。

○学校経営方針に基づく校務分掌に則り、自らの果たすべき役割を責任をもって担い、組織的な学校運営を行う。

○児童の安心・安全を第一に考え、報告・連絡・相談を密にする。特にけが、事故、いじめ、不登校については迅速に情報を共有し、組織として適切に対応する。

○体罰・不適切な指導は絶対に行わないという強い意識をもって指導に当たる。

○教育公務員としてのサービスの厳正に勤め、常に全体の奉仕者である自覚をもって職務に当たる。

教育目標達成のための基本方針

○すべての教育活動の基盤は「安心・安全」であることを常に念頭に置き、教育目標の達成を図ります。

新しいことをするのではなく、これまで取り組んできている「安心・安全」な学校の構築のための取組をより充実させ、教職員と児童、教職員と保護者、教職員と地域が共に取り組みます。

目指す児童像

●よく考える子

○基礎的・基本的な知識・技能の重点を定め、個別の追跡指導により確実に習得させます。

○論理的な考えを自立した学びの基盤と位置付け、国語科を軸にその系統性に着目して育成するとともに、あらゆる学習活動との往還を図ります。

○主体的な学習を支える「学び方の学び」を、6年間にわたり系統的に展開します。

○個別最適な学びと協働的な学びが往還するシステムを、家庭教育と接続させて構築します。

○学んだことを、自らの社会生活に還元できる有用感を重視した学習単元を開発します。



●思いやりのある子

○人間尊重の精神と声明に対する畏敬の念を、あらゆる機会をとらえて継続的に行います。

○道徳を要とした教育活動全体を通じて、道徳的实践力を養います。

●たくましい子

○豊かなスポーツライフの基盤として個人内評価を重視し、自発的な運動習慣を促します。

○心と体の健康な生活のために、適切な意思決定や行動選択を行えるようにします。

○安全に関する情報を正しく判断し、行動に結びつけられるようにします。



教育目標達成に向けた事項

1 コミュニティスクールとして、学校教育を通してよりよい社会を創るという理念の実現のため、地域社会との持続的な協働から、地域単元の開発と地域の拠点化の両立を図ります。

2 調べ方や考え方など、自律的な「学び方の学び」を軸とした教科等横断的な指導の一層の充実を図り、カリキュラムマネジメントにより進捗を図ります。

3 タブレット端末を用いた「学びの転換」を進め、主体的・対話的で深い学びを実現します。

4 個性や発達段階に応じたオーダーメイドの指導により、それぞれの資質・能力を高めます。

5 幼児教育及び中等教育との「架け橋」期の充実を図り、部分的に教育課程の融合を試みます。

6 特別支援教育に固有の教科の指導内容を、個に応じた支援に導入します。

教育目標達成に向けて

1 「安心・安全」な学校を実現させます。

- (1) 児童の動きを観察、記録し、早期対応、粘り強い指導を心掛け、組織的に解決を図ります。
- (2) 学級活動、学校生活を通して、児童一人ひとりに、危機に対する判断力を育成します。
- (3) 安全指導計画に基づく安全指導、安全点検計画に基づく月1回の安全点検を実施します。
- (4) いじめ防止基本方針に基づき、いじめの定義を理解し、未然防止、早期発見、早期解決、重大事態への適切な対応に努めます。
- (5) より現実的な想定での避難訓練、防災副読本の活用等を通して、状況に応じて自分で判断・行動して、自らの身を守る方法を確実に身に付けさせます。

2 「分かる」「できる」授業を実践し、全ての子どもに確かな学力を定着させます。

- (1) 意図的で計画的・継続的・組織的・緻密な指導、教育活動を展開します。週案を作成し、指導記録を残し、PDCAサイクルにより進行管理を繰り返し、内容を充実させて高めていきます。
- (2) 1単位時間の授業において「めあて」を黒板に掲示します。「めあて」と学習の「まとめ」を連動させ、主体的な学びを推進します。
- (3) 基礎的・基本的な知識及び技能（読む・聞く・話す・書く・計算する）を習得させます。
- (4) 習得した知識及び技能を、必要な時に活用できる力、問題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育みます。
- (5) 総合的な学習の時間・生活科の学習では、探究的な学習活動を展開し、児童に身に付けさせる力をはっきりさせ、学習活動を充実させます。
- (6) タブレット端末、デジタル教科書等のICT機器を積極的に活用します。

3 心豊かな子どもを育てます。

- (1) 「他者を思いやる心」「自分を大切に作る心」を育みます。
- (2) 個々の児童が集団に対して貢献できる場面を設定し、「自己有用感」を育てます。
- (3) 学習活動や行事等に粘り強く取り組ませ、児童に「成就感」「達成感」をもたせます。
- (4) 人間関係づくりの基本となるあいさつと返事の徹底を図ります。

4 よりよい環境の中で体力を高め、健全・健康な子どもを育てます。

- (1) 適切な言語環境、十分な清掃活動により、美しい学習環境を整えます。
- (2) 運動量を確保し、体を動かす楽しさを実感できる体育授業を行います。

5 学校と家庭、地域が連携し、共に子どもを育てます。

- (1) 地域と積極的にかかわる活動を継続させます。地域の一員として、地域に貢献する活動を取り入れます。
- (2) 不登校、校内外での悩みや問題行動に対して、的確に対応できる校内指導体制を整えるとともに、スクールカウンセラーや関係機関と連携し、迅速に解決を図ります。

昭和22年
3月 保谷第二国民学校設立
4月 保谷町立保谷第二小学校に校名変更

昭和31年
東伏見小設立により分離
本校児童数767名、15学級編成

昭和32年
開校10周年記念式典
校歌制定発表会

昭和42年
開校20周年記念式典
プール竣工式

昭和51年
体育館完成

昭和52年
開校30周年式典、校庭整備完了

昭和62年
開校40周年記念式典

平成8年
開校50周年記念式典

平成12年
校舎耐震化工事

平成13年
新市発足により、西東京市立保谷第二小学校と校名変更

平成17年
保谷第二小学校安全連絡会設立

平成18年
開校60周年記念式典（ヒート・アップ、玄関ロビー設置、PTA主催記念観劇会）

平成23年
学校安全連絡会文部科学大臣
安全ボランティア活動奨励賞受賞

平成24年、平成25年
西東京市教育委員会教育研究奨励校
東京都言語能力向上推進事業推進校
普通教室空調工事完了

平成25年
東京都獣医師会「動物飼育作文
コンクール」学校賞受賞

平成26年、平成27年
西東京市教育委員会研究指定校

平成28年
西東京市教育委員会研究奨励校（算数）
開校70周年記念式典
プール改修工事

平成29年
日本獣医師会 獣医学術学会年次大会発表
西東京市教育委員会研究奨励校（算数）

平成30年
西東京市教育委員会研究奨励校（道徳）

平成31年、令和元年、令和2年
西東京市教育委員会研究指定校

令和4年
学校運営協議会設置
西東京市教育委員会研究奨励校

令和5年、令和6年
東京都安全教育推進校

コミュニティスクールの取組

コミュニティスクールに移行して4年目の本校では、各教科等の学習で学んだことを活用し、地域社会の支援のもと、身近な物事を題材とした発展的な学習を進めています。そうした教材開発を通じて、かつてない指導事例を積み重ねています。

花プロジェクト

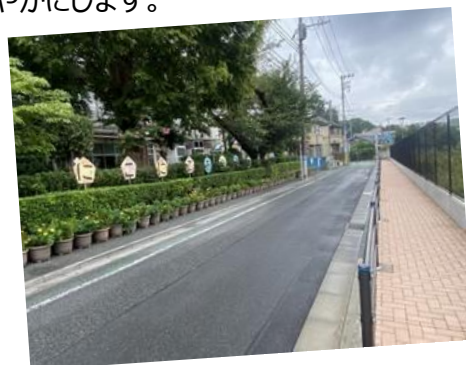


地域資源、地域の人材と連携を深めながら花の植栽活動を通して児童に豊かな情操、勤労、自然愛護の精神、ボランティアマインドの醸成を図り、持続可能な環境づくりへの理解、美化意識を育てます。



○マリーゴールドプロジェクト

花の種から苗を育て、80鉢のマリーゴールド鉢を作ります。2学期の初めに正門前の道路沿いに置いて、通学路を華やかにします。



あんぜんの日

避難所開設訓練と防災体験学習を並行実施します。学校運営協議会を中心に、おやじの会、西東京消防署、自衛隊東京地方協力本部、東京老人ホーム、学校獣医師などと連携し、体験するだけでなく、子どもたちができることを学んでいきます。



動物飼育活動



クリーン作戦



福祉体験



保二小の学校生活

登校



校門前で、元気に挨拶を交わします。



朝の時間



全校朝会、朝学習や読書を行います。

午前の授業



児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図っています。

中休み



友達との遊びの幅を広げ、健やかな心と体を育みます。

給食



栄養のバランスのとれた食事を皆でおいしくいただきます。

清掃活動



皆で協同・協働して掃除を行い、自分たちで清潔な学習環境を整えます。

午後の授業



学習用GIGA端末の活用など効果的な学習を実践しています。

委員会・クラブ



クラブ活動や委員会活動では、自主性・社会性や自治力を養います。

下校



楽しい一日が終わり、挨拶を交わしながら安全に気を付けて下校します。



生活時程

	6時間	5時間	4時間
		【特別時程】 クラブ・委員会等	
登校	8:15～ 8:25		
朝の会	8:25～ 8:35		
朝の活動	8:35～ 8:50		
1	8:50～ 9:35		
2	9:40～10:25		
中休み	10:25～10:45 ♪10:40		
3	10:45～11:30		
4	11:35～12:20 ♪12:20		
給食	12:20～13:05		
昼休み	13:05～13:25 ♪13:20	昼休み・掃除 なし	
掃除	13:25～13:40		
5	13:40～14:25	13:25～14:10	
6	14:30～15:15		
最終下校	15:25	14:35	14:20
			給食あり 給食なし 13:15 12:30



学年別児童数

	男子	女子	計	クラス数
1年生	28名	24名	52名	2
2年生	19名	18名	37名	2
3年生	16名	31名	47名	2
4年生	26名	22名	48名	2
5年生	37名	36名	73名	3
6年生	31名	26名	57名	2
合計	157名	157名	314名	13

令和7年5月1日現在

保二小の一年

4月

始業式
入学式
定期健康診断
地域めぐり
保護者会
1年生を迎える会
土曜公開授業
引き取り訓練
消防写生会
離任式



10月

社会科見学 3年
移動教室 6年
就学時健診
学校説明会
遠足 1年



11月

学芸会
個人面談
(希望制)
ランニングホニチャレンジ旬間



5月

あいさつ運動
運動会
縦割り班活動始
教育実習



6月

遠足 3・4年
セーフティー教室 5・6年
プール開き
こころの劇場 6年
小・中交流会

救命講習 5年
体力テスト



12月

社会科見学 5・6年
終業式



1月

始業式
席書会
土曜学校公開
(道徳授業地区公開講座)
社会科見学 4年

7月

セーフティー教室 1・2年
多摩六都科学館見学 4年
音楽鑑賞教室 5年
水泳指導終
終業式



2月

社会科見学 6年
土曜公開授業
個人面談

8月

9月

土曜学校公開
(あんぜんの日)
読書旬間
ホニ小まつり



3月

開校記念日
6年生を送る会
修了式
卒業式



校歌

作詞 江間 章子
作曲 津川 圭一

一
むさし野の森が
ばくらとうたう わたくしたちと
いっしょにうたう

保谷 保谷 第二小
たたえよ うたえよ 空にひびけ

二
すすくとそだつ

心とからだ わたくしたちの
あかるい小学校

保谷 保谷 第二小
たたえよ うたえよ 愛の教え

三
うつくしくかおる

あのももの花 わたくしたちの
希望のしるし

保谷 保谷 第二小
たたえよ うたえよ きよいすがた



マスコットキャラクター



ホニホニさん

平成26年度に生まれました。
名前は「ホニホニくん」。
平成30年度「ホニホニさん」と改名。「さん」には、「SUN（太陽）」のような人になろうという願いも込めています。

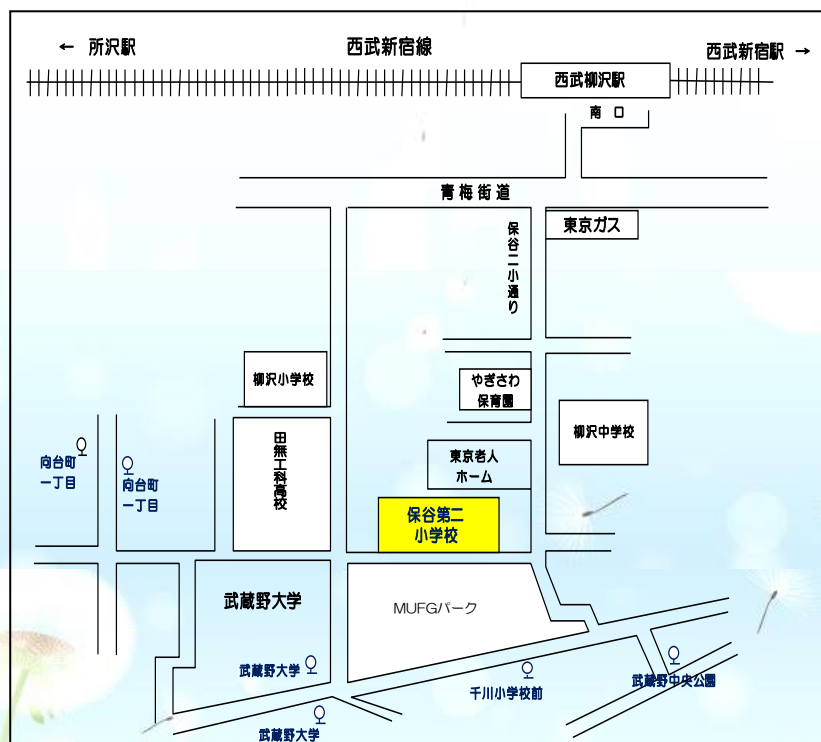


校章のいわれ



昭和22年3月3日、桃の節句に開校したことから、桃の花をモチーフとしています。
子どもたちが、健やかな心と体に育つ学校を創ろうという願いが込められています。

学校案内図



○西武新宿線・西武柳沢駅より徒歩約15分

○JR中央線・武蔵境駅北口より
三鷹駅北口行（関東バス：鷹30「武蔵野大学」下車、徒歩6分
ひばりヶ丘駅行（西武バス：境03、04、07）
「向台町一丁目」下車、徒歩10分

○西武新宿線・田無駅または
西武池袋線・ひばりヶ丘駅より
武蔵境駅行（西武バス：境03、04、07）
「向台町一丁目」下車、徒歩10分

○JR中央線・三鷹駅北口より
柳沢駅行（関東バス：鷹13）
保谷駅・天神山行（西武・関東バス共通：鷹21）「武蔵野中央公園」下車、徒歩7分

○JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅北口より
向台町五丁目行（関東バス：吉73）
「武蔵野大学」下車、徒歩6分



西東京市立保谷第二小学校

〒202-0022 東京都西東京市柳沢4-2-11

TEL : 042-463-4515

FAX : 042-463-4565

URL : <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya2/>

E-mail : e-houya2@nishitokyo.ed.jp